

中学校の新型コロナウイルス感染症に関する対応について

高崎市立群馬南中学校

天笠 辰也

●休校中の対応

…… 異例の卒業式

3月の安倍首相による突然の休校要請であったが、中学3年生の担当だったので、学習内容は終了しており、学習に関する影響はなかった。公立高校入試についても出願手続きは終わっており、中学校側では特に大きな混乱は見られなかった。

卒業式は、①来賓挨拶等を省略し1時間で終了②卒業生と教職員、保護者のみで在校生は参加しない③参加者全員のマスク着用などの対応で行われた。卒業証書は、代表者が受け取るという案もあったが、結局一人ひとりに渡された。例年のように「別れを惜しむ」というよりは「久しぶりの再会を喜ぶ」という雰囲気が漂う、まさに異例の卒業式となった。

4月になり、入学式もマスク着用・短縮版で行われた。入学式も無事終了し、生徒下校後に翌日からの休校延長の連絡が市教委から届いた。新入生はまだメール連絡網ができておらず、小学校から連絡を入れてもらい、メールが届かない家庭には、担任が電話連絡するなど、対応は8時過ぎまで続いた。

休校の長期化に伴い、家庭での学習用に「6年生の復習」（業者から冊子を購入）や「中学の内容の予習プリント」（教科担任が作成）などを配布した。各学年ごとに1週間に1日課題点検日を設けて、家庭学習や生徒の様子を把握した。密を避けるために1クラスの生徒を2つの教室に分けて登校させるなどの対応を行った。

●再開後の対応

一職員の負担増、生徒の生活は？

☆35人以上の教室使用制限について

1クラス35人以上の場合は、広い特別教室を使用するよう市教委から指導があり、第2

学年の生徒は体育館・美術室・家庭科室などで授業を行った（現在は教室に戻っている）。生徒が授業に集中できず、大変不評であった。

☆検温について

朝自宅で検温し検温カードに記入してから登校、校舎に入る前にもう一度職員が非接触型の体温計で検温を行い検温カードに記入して校舎内へ。教室に入る前には石鹸で手洗いをして、手指消毒をする。給食の前にも全員検温（現在は給食当番のみ）を行う。

☆消毒について

放課後、部活動終了後に職員が、生徒が触れたすべての場所（現在は生徒個人の机椅子は除く）の消毒を行っている。また、トイレ掃除・消毒は職員が行う（現在清掃は生徒が行っている）。勤務時間終了後の活動になってしまうので肉体的にも精神的にも負担感が大きい。



☆部活動について

接触や密を避けて活動する（現在はコロナ禍以前の状態に戻りつつあるが）。中体連県大会・市大会とも中止。

☆生活リズムの乱れ

あまりにも休校が長かったために生活リズムが乱れてしまい（夜遅く、明け方までゲームなど）、それが原因で登校できない中学1年生が数名いる。